

| | | | | | | | | | |
|------------------|--|--|------------------|----------|---|---------|--|--------|------------|
| 事務事業名 | キャリア教育推進事業 | | | 会計 | 一般会計 | 実施区分 | 継続 | | |
| | | | | 事業種別 | 政策 | 開始 | 19 終了 99 | | |
| H29作成課等名 | 生涯学習・スポーツ課 | H29係等名 | 地育力向上係 | H28担当課等名 | 生涯学習・スポーツ課 | | | | |
| 基本計画上の位置づけ | 政策 | 2 | 地育力によるこころ豊かな人づくり | | | | | | |
| | 施策 | 22 | 義務教育の充実 | | | | | | |
| 目的 | 対象(誰・何を) | 市内小・中学校 | | | 対象指標 | 指標名及び単位 | | 28年度数値 | |
| | 意図(どういう状態にするか) | 職場体験学習等を通して、子どもたちが良好な職業観を持ち、自らの人生を主体的に切り拓く力を備え、地域にも貢献しようとする意欲を持てるようにする | | | | 小・中学校数 | 28 | | |
| | 向上させたい上位施策の成果指標 | キャリア教育、体験活動により、自分の生活を見直すことのできた生徒の割合:% | | | | | | | |
| 目標 | 種別 | 指標名及び単位 | | | 27年度計画 | 27年度実績 | 28年度計画 | 28年度実績 | 備考(指標変更など) |
| | 成果指標 | 中学校職場体験学習実施日数(平均・日) | | | 3.6 | 3.3 | 3.6 | 3.3 | |
| | 成果指標 | 職場体験学習受入れ事業所数(受入れ意思がある事業所・事業所) | | | 300 | 303 | 310 | 287 | |
| 定性目標 | | | | | | | | | |
| 事業概要 | <p>キャリア教育で育みたい5つの力 「人とつながる力」、「課題を持って最後までやりぬく力」、「自分を見つめ夢や目標を描く力」、「職業や仕事について興味や関心をもつ力」、「ふるさとの良さに気づき自らかかわる力」 ・飯田のキャリア教育は、子どもたちが働く意義を知り勤労意欲を持つこと、夢を抱きそれを実現しようとする意欲を持つこと、さらには、ふるさとに生かされている自分に気づき地域社会に貢献しようとする意欲を持つことを目的に、キャリア教育推進協議会、キャリア教育研究委員会を組織して推進している。 ・中学校での職場体験学習を、地域内の事業所の協力を得て実施することを中核的な取組みとして推進してきた。 ・現在は、職場体験学習を引き続き中核活動に据えつつも、各教科、総合的な学習の時間、特別活動の時間、児童・生徒会活動等の全ての教育活動の中にあるキャリア教育の断片をつなぎ合わせて横断的、系統的な取組みへと発展させることを目指している。 ・小中連携・一貫教育の中にもキャリア教育の推進を位置づけ、9年間を通じた中学校区単位でのキャリア教育を推進する。</p> | | | | | | | | |
| 28年度事業内容 | 事業内容 | | | | 名称 | | 活動指標 | | |
| | 1 市内9中学校の職場体験学習のための受け入れ職場の確保 2 職場体験の事前学習としてのガイダンスへの講師派遣 3 キャリア教育推進協議会による推進と研究委員会による調査研究 (1) 推進協議会、研究委員会の開催 (2) 小中連携のあり方研究のための小中連携協議会の開催 (3) フォーラムの開催 4 小中連携・一貫のキャリア教育の実施 (1) 各中学校区におけるキャリア教育の指導指針・実施計画の作成 (2) 教職員対象の研修事業の開催 5 各中学校代表生徒による「結びジュニアリーダー育成講座」の実施 | | | | 1 事業所等の数 2 講師派遣回数 3 (1) 会議開催 (2) 会議開催 (3) 開催数 4 (1) 指針・計画策定校区 (2) 研修会開催 5 (1) 受講人数 (2) 開催回数 | | 1 287事業所 2 8回 3 (1) 7回 (2) 2回 (3) 1回 4 (1) 1中学校区 (2) 2回 5 (1) 12人 (2) 6回 | | |
| 事業コスト | 27年度決算額 | 28年度予算額 | 28年度決算額 | 29年度繰越額 | 特定財源内訳、補足 | | | | |
| 事業費計(千円)① | 498 | 663 | 587 | 0 | (そ)ふるさと寄附金 | | | | |
| 国庫支出金 | | | | | | | | | |
| 県支出金 | | | | | | | | | |
| 起債 | | | | | | | | | |
| その他 | 443 | | 298 | | | | | | |
| 一般財源 | 55 | 663 | 289 | | | | | | |
| 人件費計(千円)② | 5,902 | 5,902 | 5,902 | 0 | | | | | |
| 正規職員所要時間 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | | | | | | |
| 臨時職員所要時間 | 500 | 500 | 500 | | | | | | |
| 総事業費①+② | 6,400 | 6,565 | 6,489 | 0 | | | | | |
| 事業内容・目標達成状況の振り返り | <p>職場体験学習受入先事業所については、事業所と若干減っているが、新規事業所の追加も15ありあった。経済状況が厳しい中、また高校生・大学生インターンシップとの日程の重複等もあり、引き続き新規事業所への依頼を行っていく。 小中連携・一貫教育の実施要綱にキャリア教育の必要性を位置づける中学校区が増えてきた。 中学生が主体的に運営をしている推進フォーラムにより、キャリア教育の意味や成果について一定の評価を頂いた。より多くの市民が参加できる会場での開催を望む声があった。今までの振り返りと結びジュニアリーダー育成講座の活動の中で総合</p> | | | | | | | | |
| 改革改善の考え方 | ①問題点 | 下伊那郡内の中学校や高等学校と職場体験学習が重複する状況がみられる。発達段階に応じた系統的な取組の観点から、キャリア教育の小中一貫した実践が必要である。 | | | | | | | |
| | ②改革提案 | 受入事業所の確保に向けて、飯田商工会議所等と連携してキャリア教育の取組みを説明し受入を依頼していく。小中連携・一貫教育実施計画でキャリア教育に取り組む中学校区の指導計画作成に向けた支援を行う。 | | | | | | | |